湯本高校・遠野高校合同ＰＴＡ合同役員会（７月２７日（火））　校長挨拶

湯本高校、遠野高校のＰＴＡ役員の皆様にこうしてお集まりいただいたこと、また、いわき湯本高校という新しい学校のＰＴＡのあり方についてこれからお話し合いをいただくこと、この二つのことについて、心から感謝申し上げます。

両校の統合校に当たっては、校舎方式を採用しております。
これは、湯本高校の本校舎、遠野高校の遠野校舎、それぞれの学び舎における教育活動の独自性を保障するものであります。
一方で、統合校としてのまとまりも求められ、いわき湯本高校として、学校の魅力化・特色化を図っていく必要があります。

校舎方式を採用しての統合は、初めてのケースであります。
さまざまな課題を洗い出しながら、一つ一つ検討・調整し、よりよい方向で新しい学校としてまとまっていけるよう、両校で力を合わせ取り組んでいるところです。

いわき湯本高校のＰＴＡはどうあるべきか。
さまざまな課題があるかと思いますが、両校のＰＴＡ役員の皆様によるお話し合いの中から、一つ一つよい知恵が生まれ、新しい学校にふさわしいＰＴＡの形が定まっていくものと考えております。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。